

# 法の支配： ユーザーガイド



# 法の支配、民主主義、人権

欧州評議会の三本の柱である「法の支配」、「民主主義」、「人権」は、互いに密接に関連しており、切り離すことのできないものです。

- ▶ 民主主義は、市民が公的な意思決定に関与することを保証します。
- ▶ 人権は、個人の自由に対する恣意的かつ過度な干渉を防ぎ、人間の尊厳を確保するためのものです。
- ▶ 法の支配に基づく国家では、公権力の行使が規制・監視されます。

法の支配は、公権力を行使する者に説明責任を課すことで民主主義を促進します。また、独立した公平な司法制度を通じて人権を保護し、多数派による恣意的な支配から少数派を守ります。

## なぜこれが不可欠なのか？

明確なルールのない国家は、不安定になりやすく、恣意性に陥るおそれがあります。法の支配は、すべての人の基本的自由を守るものであり、現代民主主義の基盤となるものです。

## 法の支配を支える5つの基本原則:

- ▶ **合法性**: 法はすべての人に適用され、権力に制限を設けます。
- ▶ **法的安定性**: 法は明確で、誰でも知ることができ、予見可能なものです。
- ▶ **権力濫用の防止**: 恣意的な行為を避けるため監視が行われます。
- ▶ **法の下での平等・無差別**: 法はすべての人を守り、平等に適用されます。あらゆる差別は禁止されます。
- ▶ **独立した公平な司法へのアクセス**: 誰もが裁判所を通じて、自らの権利を守ることができます。

「正義の女神」イラスト:Nadine Theuma(マルタ)





# 合法性

## 法はすべての人に適用され、権力に制限を設ける

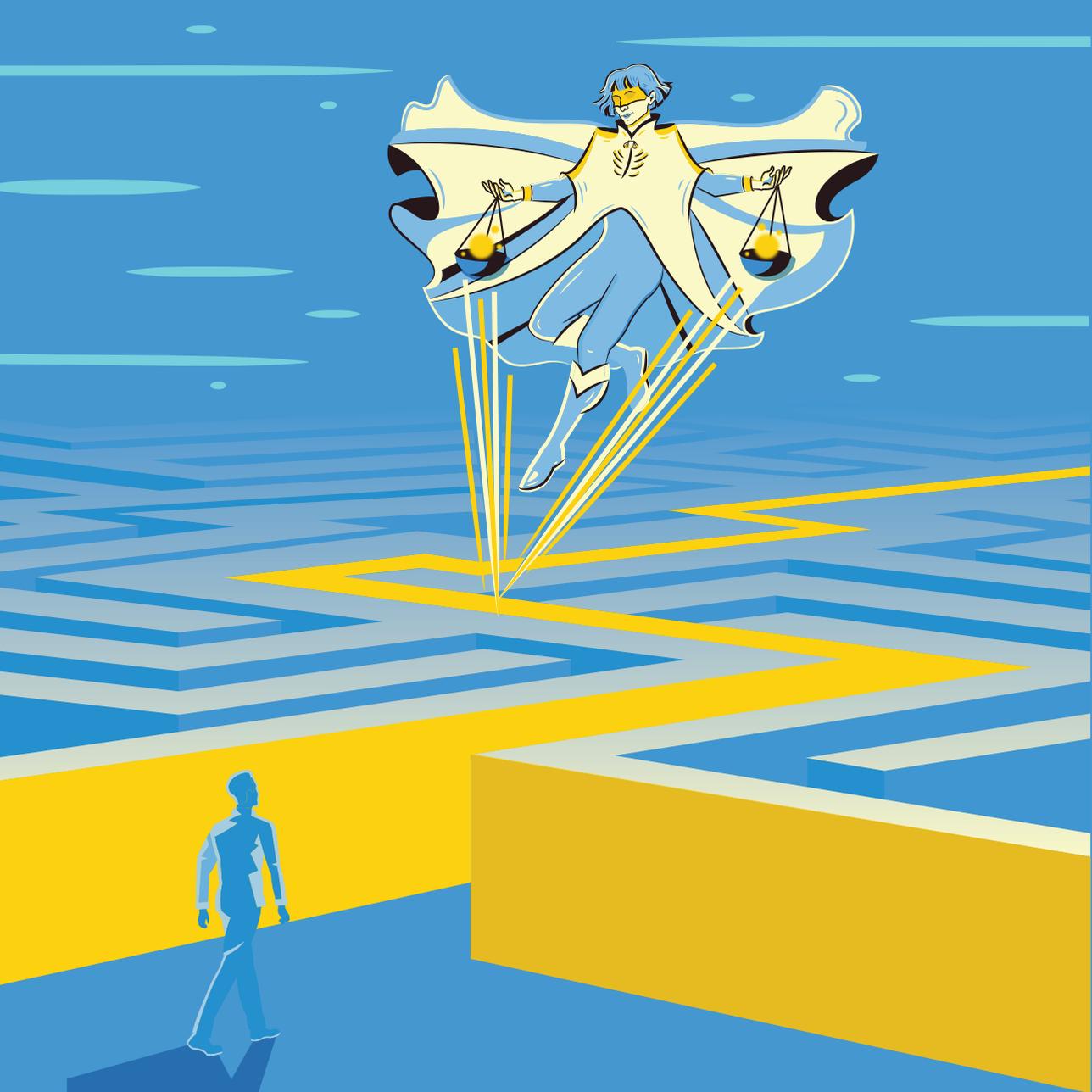
法の支配によって統治される国家では、行政当局と市民のあらゆる行為は、民主的に制定された法律によって規制されます。政府は、制限や監視を受けることなく独断で権力を行使したり、その意思を押し付けたりすることはできません。

### 主要原則

- ▶ すべての決定は、法の枠組みの中で行われなければなりません。
- ▶ 法律は、明確で透明性のある民主的なプロセスを経て制定されなければなりません。
- ▶ 公的機関の決定は、独立した司法機関の審査を受けなければなりません。政府は、憲法の規定を無視して、勝手に新しい権限を自らに付与することはできません。
- ▶ 国際条約や国際協定、および国際裁判所による判決は、適用され遵守されなければなりません。
- ▶ 法は効果的に施行されなければなりません。

### なぜこれが不可欠なのか？

もし権力の行使に法的な制限がなければ、濫用されるおそれがあります。例えば、政府が自らの判断で人々の自由を制限できるようになってしまうのです。民主的に制定された法律が明確であり、それが尊重されていることは、すべての人にとっての正義と平等を守る保証となります。



# 法的安定性

## 法は明確で、誰でも知ることができ、予見可能である

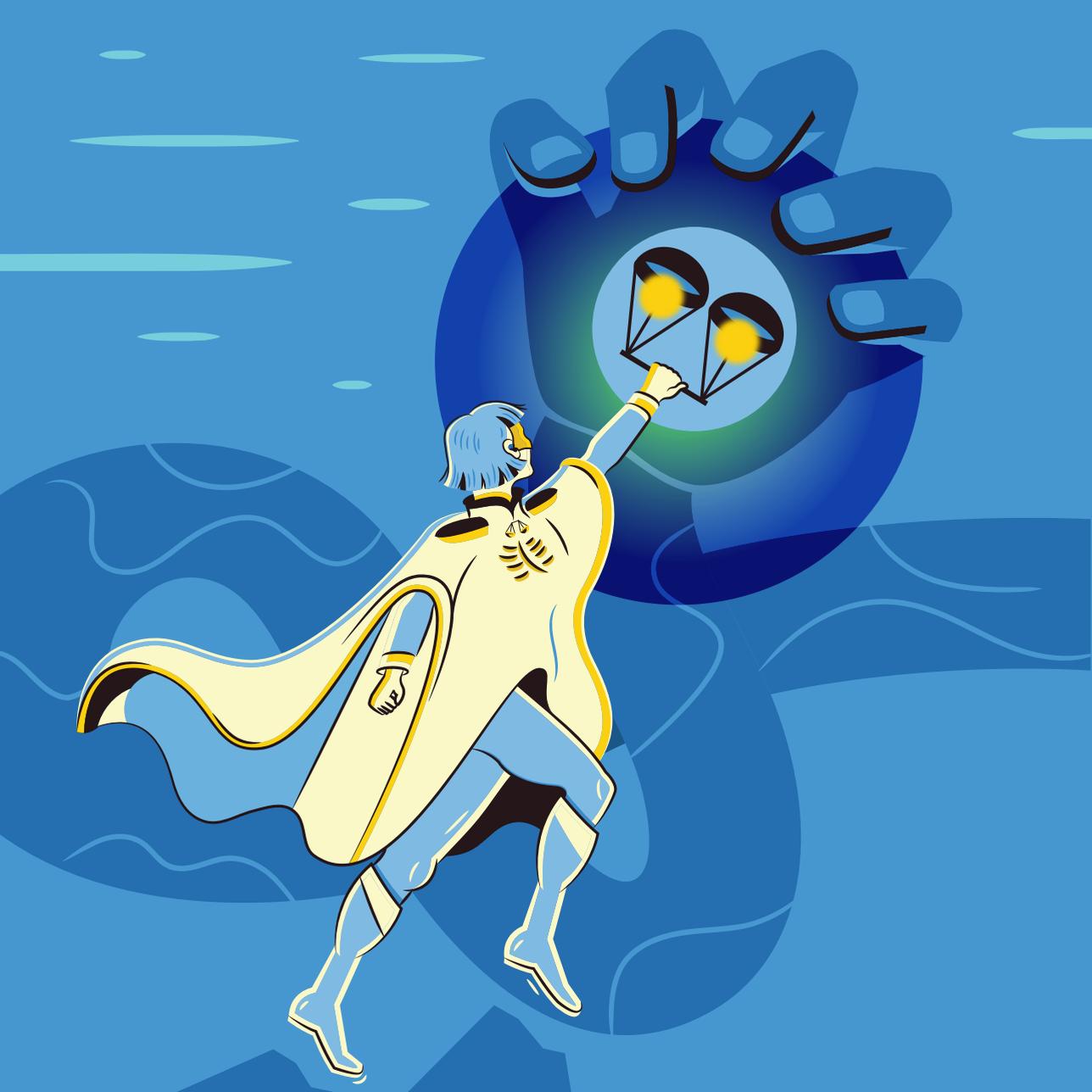
法的安定性は、法が明確で、誰でも知ることができ、予見可能であること、そして遡及して適用されないことを保証します。それによって、すべての人が自らの権利と義務を事前に知ることができます。

### 主要原則

- ▶ 法律および裁判所の判決は、容易にアクセスでき、理解できるものでなければなりません。
- ▶ 法律は予測不可能な形で変更されてはならず、一貫性を保つ必要があります。
- ▶ ある行為がなされた時点で犯罪または違法行為に該当していなかった場合、その行為に対して有罪判決を下すことはできません。

#### なぜこれが不可欠なのか？

個人が確信を持って行動するためには、自らの権利と義務を知っている必要があります。曖昧な法律や急速に変化する法律は、不確実性と不安定性を生み出し、個人を予測不可能な制裁に対して脆弱な状態にすることになります。



# 権力濫用の防止

## 恣意性を回避するための監視が行われる

無制限かつ監視されない権力は、不正義をもたらします。絶対的な権力がもたらす危険には、恣意的な決定、汚職、政治的抑圧などが含まれます。例えば、司法の許可や監視なしに過度な監視を行うことは、人権侵害につながるおそれがあります。

### 主要原則

- ▶ **権力分立**: 権力は1つの機関に集中してはなりません。
- ▶ **理由説明の義務**: 公的な決定には正当な理由が必要であり、説明されなければなりません。
- ▶ **司法審査**: すべての公的決定に対し、独立した公平な裁判所で異議を申し立てる機会が確保される必要があります。

#### なぜこれが不可欠なのか？

監視がなければ、政府は恣意的な決定を下し、反対勢力を検閲し、さらには基本的自由を廃止することさえ可能になってしまいます。法の支配は、こうした濫用を防ぐための保護措置を確立するものです。



# 法の下での平等・無差別

## 法はすべての人を守り、平等に適用され、差別は禁止される

法の支配は、すべての人が法の下で平等な権利と義務を有すること、そしてその取り扱いにおいて不当な差異がないことを求めます。

### 法の下での平等とは

- ▶ 法律の条文においても、その適用においても、人々の間に不当な区別がなされないこと。
- ▶ あらゆる形態の差別に対し、保護が提供されること。
- ▶ すべての人に同じ権利と義務が保証されること。
- ▶ 差別を受けた者は誰でも、自らを守るための手段を講じられること。

#### 主要な進展—女性の選挙権を例に

ヨーロッパにおいて女性への選挙権付与が遅れたことは、歴史的な差別の一例です。1906年、フィンランドにおいて、ヨーロッパで初めて女性に選挙権が付与されました。他の多くのヨーロッパ諸国がこれに追随したのは1918年以降のことであり、ヨーロッパ全体で普遍的なものとなったのは1984年になってからのことです。今日、法の支配は女性の選挙権を保護するだけでなく、差別なく政治活動に積極的に参加することを保証し、促進しています。



# 独立した公平な司法へのアクセス

## すべての人が裁判所で自らの権利を守ることができる

独立した公平な裁判所へアクセスできることにより、人々が自らの権利を守ることができます。例えば、欧州人権裁判所は、解雇や財産の剥奪、または子どもへの面会権の中止といった事態に対し、裁判で争う手段がなかったことは申立人の権利の侵害にあたるとの判断を示しています。迅速でアクセスしやすい司法は、平等な権利を確保するために不可欠なものです。

### 主要原則

- ▶ すべての人は裁判所に申し立てる権利を有し、独立した公平な裁判所による公正な裁判を受ける権利があること。
- ▶ 判決文は誰でも閲覧可能であり、明確に説明される必要があること。
- ▶ 必要とする人々に対して、法律相談や法律扶助が提供されること。
- ▶ 手続きは合理的な時間内に迅速に行われ、かつ多額の費用がかからないこと。
- ▶ 裁判所の決定は確実に執行されること。

#### なぜこれが不可欠なのか？

司法へのアクセスがなければ、不当な扱いを受けた市民は自らの権利を主張することができません。国家は、独立した裁判所、そしてすべての人がアクセスできる司法制度を保証しなければなりません。



PAX EVAN  
TIBI GELI  
MAR STA  
GELI MEVS

# 法の支配の実践

## 欧州評議会 ベニス委員会の役割

ベニス委員会は、加盟国が法の支配の原則を確実に実施するための憲法制度を設計できるよう支援してきました。また、同委員会は、特定の国における法の支配の原則の実施状況を評価するためのツールとして「Rule of Law Checklist(法の支配チェックリスト)」も提供しています。

### ベニス委員会の「法の支配チェックリスト」

2016年に発表された「法の支配チェックリスト」は、法の支配の中核となる原則(合法性、法的安定性、権力の濫用・悪用の防止、司法へのアクセス、平等、無差別)を、詳細な指標と関連資料を備えた評価基準の形で提示しています。

政府、議会、市民社会、市民、そして国際機関は、このチェックリストを使用することで、特定の国において法の支配の原則がどの程度尊重されているかを評価できます。これにより、国家による対応を必要とする弱点や課題の特定が可能になります。ベニス委員会は、こうした弱点や課題を是正する方法について、これまで数多くの勧告を行ってきました。

## 私たちについて

「法による民主主義のための欧州委員会(通称:ベニス委員会)」は、独立した専門家で構成される、欧州評議会の憲法に関する諮問機関です。

当委員会は、イタリアの学者アントニオ・ラ・ペルゴラ(Antonio La Pergola)の発案により、1990年5月10日に設立されました。ベルリンの壁崩壊後、多くの旧社会主義国が民主的な憲法と法律を採択し、欧州評議会へ加盟できるよう支援を行ってきました。

今日では、加盟国が国際基準に沿った憲法・立法改革を策定できるよう支援しています。委員会の勧告を遵守することは、欧州連合(EU)への加盟プロセスを円滑に進める一助となっています。

## ミッション

ベニス委員会は、要請に応じて、国家当局、国家機関、利害関係者、市民社会との包括的な協議プロセスを通じて、主に選挙や司法分野における憲法・立法改革の評価を行います。その上で、民主主義、人権、法の支配の原則を尊重・実施し、効率的で実効性のある統治システムを構築するために、これらの改革をどう改善すべきかについて、法的拘束力のない勧告を行います。

## 加盟国

ベニス委員会は、欧州評議会の46加盟国に加え、南北アメリカ、アフリカ、アジアからの15か国で構成されています。

## なぜ「ベニス」なのか？

「法による民主主義のための欧州委員会」は、その最初の会合がイタリアの有名な水上都市で開催され、現在も年4回そこで会合を開いていることから、通称「ベニス委員会」と呼ばれています。

## 1990～2025年—これまでの成果

設立から35年間、ベニス委員会は、その独立性と公平性、専門性、そして包括的な手法により、民主的な憲法の採択と国家機関の民主的な運営を促進する上で大きな役割を果たしてきました。特に、加盟国における法の支配の原則遵守を促し、権力分立と司法の独立を強化することに貢献してきました。

- ▶ 憲法・立法改革に関する意見書と報告書の数：**1,000件以上**
- ▶ 委員会の支援により起草または改正された憲法の数：**50件以上**
- ▶ 委員会の活動に貢献してきた、独立した法律専門家の数：**200名以上**

なぜ、これが私たち全員にとって重要なのか？

法の支配が意味するもの：

安定した平和な民主主義

自由で、恣意性から保護された市民

より公平で、より平等な社会の実現

イラスト:Nadine Theuma

無断複写・複製・転載を禁じます。

本出版物のいかなる部分も、欧州評議会広報局 (F-67075 Strasbourg Cedex または publishing@coe.int) からの事前の書面による許可なく、翻訳、複製、転載することを禁じます。

写真 © 欧州評議会

発行: 欧州評議会

F-67075 Strasbourg Cedex

www.coe.int

© 欧州評議会、2025年7月

ベニス委員会のウェブサイト

<https://venice.coe.int>



このパンフレットは、法の支配を支える本質的な原則である、合法性、法的安定性、権力濫用の防止、法の下での平等、そして司法へのアクセスについて解説するものです。これらの原則は、民主主義と人権の礎であり、説明責任のある統治、個人の自由、そして公平な社会を保証するものです。欧州評議会がベニス委員会の活動を通じて進めている、各国の基準維持の支援や、恣意的な権力から市民を守るための取り組みについて紹介します。このガイドは、政策立案者、学生、あるいは1人の市民に対して、法の支配がなぜ重要なのか、そしてそれが私たちの自由を日々どのように守っているのかを明らかにします。

JPN

[www.coe.int](http://www.coe.int)

欧州評議会は、欧州大陸屈指の人権組織であり、欧州連合の全加盟国を含む46の加盟国から構成されます。欧州評議会のすべての加盟国が、人権、民主主義、法の支配を守るために策定された欧州人権条約に加入しています。欧州人権裁判所は、加盟国による人権条約の実施状況を監督しています。欧州評議会は、デジタル環境において人権、民主主義、法の支配が保護・促進されるよう保証します。欧州評議会は、新たなスタンダード設定における先駆者たる能力を多くの機会に証明してきており、これら基準はその後、国際基準となりました。欧州評議会はこの伝統に基づき人工知能にも対応します。

